

# 令和4年度「地域づくり表彰」(募集)

さまざまな 創意・工夫と 挑戦にあふれた 地域づくり活動をご推薦ください!

我が国が本格的な人口減少・高齢社会に突入するなかで、地域の持続可能性を高めていくには、従前の取組とは異なった、地域の内外の方々との連携や創意工夫、ICTの活用等による新たなチャレンジが不可欠となってきています。

そのため、国土交通省では、多様な主体の参加・連携・交流による地域づくり活動の奨励を目的として、各地の地域づくりのヒントとなり得る優良事例を表彰する「地域づくり表彰」を実施しています。

各受賞団体には受賞を糧に更に活発に活動を展開いただくことを、また全国各地の皆様には各事例を参照頂き個性的で魅力ある地域づくりの輪を更に広げていただくことを期待しています。

## 【表彰の種類】

- **国土交通大臣賞** (地域づくり部門/小さな拠点部門 各1件程度)
- **全国地域づくり推進協議会会長賞** (地域づくり部門/小さな拠点部門 各1件程度)
- **国土計画協会会長賞** (部門によらず 若干数)
- **日本政策投資銀行賞** (部門によらず 若干数)
- **地域づくり表彰審査会特別賞** (部門によらず 若干数)

- ・応募者は、法人格を問いません。(任意のグループでも、複数団体からなる協議会でも、地方公共団体でも、個人でも可)
- ・各市町村・都道府県の取りまとめを経て、事務局で書類審査し、最終的に有識者による審査委員会で賞を決定いたします
- ・「小さな拠点部門」とは、廃校や空家・空き店舗等を新たな拠点として再生し多様な活動を展開した事例が対象です
- ・「活動の拡がり」「持続可能性」「地域資源の活用ぶり」「創意工夫」「成果」の観点で評価いたします。

## 【令和4年度の募集にあたって】

2年続きの新型コロナウイルス感染予防の取組で、対面のイベントや交流事業などが従前どおりには開催しにくくなっているなかで、十分な感染予防対策の上で実施した地域づくりの取組や、リモートやICT等を活用した移住相談・地域イベントの実施・SDGs等の持続可能性に着目した取組、地元産品のPR・二地域居住、関係人口の増大の取組などが活発化してきているようです。

もちろん、この2年より前からの継続的・長期的な取組のご応募も、引き続き歓迎申し上げますとともに、近年の厳しい状況の中で、短期であっても成果が見えはじめている新しい取組事例があれば、ふるってご応募・お声がけいただけると幸いです。

## 【募集締切】 令和4年4月21日(木)

【応募方法】 下記のHPから「応募様式」をダウンロードし記載の上、各自治体の担当窓口へ提出して下さい  
なお、下記HPには過去の受賞団体の概要等も掲載しておりますので、ご参照下さい  
[https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000020.html](https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000020.html)

【問合せ先】 国土交通省 国土政策局 地方振興課 担当：渡部、馬場  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2  
TEL 03-5253-8403 FAX 03-5253-1588

# 昨年度（令和3年度）の受賞活動の概要と活動風景

（順不同）

## 国土交通大臣賞（地域づくり部門）

### 三津浜地区にぎわい創出実行委員会（愛媛県松山市）

風情ある町並みを活かして、商店街の空き店舗や空き家の改装・整備に取り組むとともに、独立開業を促す仕組みにより、地区内への新規出店・移住を促進させることで新たににぎわいを創出し、ご当地グルメをブランド化させ、毎年全国規模のグルメイベントを開催することで、地域内への食文化の普及と地域外への認知度向上などを図った。

## 国土交通大臣賞（小さな拠点部門）

### 春日活性化委員会（佐賀県嬉野市）

春日地区を守るため、地元住民の想いに応え、140年以上の歴史を持つ元分校をカフェに改修し、地域住民と一緒に地区全体を盛り上げていく活動拠点として生まれ変わらせ、地区外から人を呼び込み交流を促し、地元高齢者の知恵を活かして、耕作放棄茶園で「茶の実」を収穫・搾油し、化粧品の商品開発などを行った。

## 全国地域づくり推進協議会会長賞（地域づくり部門）

### 全国地ビールフェスティバルー関実行委員会（岩手県一関市）

豊かな水量の恩恵を受けて古くから酒造が盛んな地域の特性を活かし、全国各地のブルワリーが一堂に会するビアガーデンを開設し、県内学生や全国のボランティアスタッフの協力や応援を得て交流人口の範囲を広げ、地ビールの普及を図るとともに、地域の魅力発信に努め、関連産業の発展と地域の振興に貢献し、地域経済に好循環をもたらした。

## 全国地域づくり推進協議会会長賞（小さな拠点部門）

### HUB a nice d!（ハブ ア ナイス ティ）（鹿児島県瀬戸内町）

地域住民の「子育てを楽しめる場が欲しい」という要望に応え、空き家古民家をリノベーションして、夢を叶える一歩を踏み出す場、多世代で地域が繋がる場、子連れで働き・学べる場、としての機能を持たせ、地元民と移住者の交流を深め、行政や大学からの応援や協力を得て、地域資源を活用しながら子育てしやすい環境を創ることに尽力した。

## 国土計画協会会長賞

### シルバーふれあいサロン やまゆり（新潟県柏崎市）

商店街の空き店舗を活用し、高齢者ボランティア会員が簡単に店番の出来る工夫「もぎり方式」を取り入れ、シニア層に絞った店舗運営により、商店街の振興とボランティアの生きがいを創出させたほか、耕作放棄地を「体験型農場」として活用し、障害者支援団体と協力して六次産業化に取り組み、地域内の経済循環を促進した。

## 日本政策投資銀行賞

### 株式会社元気アップつちゆ（福島県福島市）

バイナリー発電事業による売電収益を、バスの無料パス支給などにより地域に還元するとともに、発電で使用する冷却水を再利用してオニテナガエビの完全養殖やエビの釣堀カフェ運営、構造改革特区を活用した「どぶろく」や「果実酒」の醸造・販売により、地域の産業振興や雇用創出、交流人口増などに繋げている。

## 地域づくり表彰審査会特別賞

### DEJIMABASE（デジマベース）（長崎県長崎市）

出島エリアが「愛される場所」になるために、出島を愛する人達による任意の活動を継続させ、出島表門橋を雑巾で拭く活動「はしふき」では新たな交流や活動を生み出し、「表門橋公園活用サポート」では行政との強い信頼関係を築き、イベントの定期開催により認知度を広げ、市内で最も活用される公園に押し上げ、地域への店舗出店を促した。

## 地域づくり表彰審査会特別賞

### 松浦市（長崎県松浦市）

豊富な漁場に恵まれ、日本一の水揚げ量を誇るアジに着目し「松浦＝アジフライ」の定着を目指して、市内外の連携店を記したアジフライマップを毎年作成、アジフライデーには市内学校給食でアジフライを提供、ロゴマークやグッズを製作・販売し、地域経済を活性化させ魅力ある地域づくりに取り組み「アジフライの聖地」の商標登録を取得するなどを行った。

## 地域づくり表彰審査会特別賞

### パーフェクトビーチ・里海ヘルスツーリズム推進協議会（大分県豊後高田市）

九州最大級の花公園「長崎鼻」のリゾートキャンプ場を核に「安全・清潔・快適」な海水浴場の整備、海洋療法と温泉療法の導入、ひまわりや長命草による商品開発により、海、温泉、健康食などの小規模ながら恵まれた地域資源を新たな視点で統合、魅力的な場所へと変貌させ、市全体の観光振興を促進させるなどを行った。

## 地域づくり表彰審査会特別賞

### 長島町（鹿児島県出水郡長島町）

合併した二つの町の融和や一体となった魅力あるまちづくりを図るため花に着目し、道路沿いに花壇を設置、町人口1割以上の住民・団体が自主的に管理し、出土・廃棄されていた天然石を道路路面の材料や「石の花」に活用、景観改善・道路沿いの不法投棄の減少に繋げ、町全体が会場の花イベントを実現させ、花を核とした新規産業を創出した。



大正時代の懐かしの  
お好み焼きを再現！  
新たな賑わいが創造できた！



空き家の再生作業を  
住民だけでなく県外の大学生  
との交流の場として活用！



転勤族ママさんと離島の地元  
集落の皆さんとの協創&協働  
で地域食堂を開業！



気軽に誰もが参加できる  
地道な清掃活動が  
市民の史跡への再認識に  
繋がった！

※その他の詳細は、ウェブの検索エンジンで【地域づくり表彰】で検索してください